



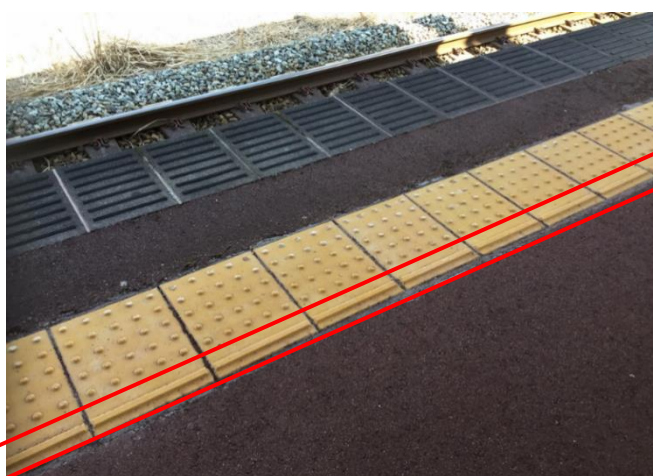
2020年6月25日
JR東日本 仙台支社

駅ホームにおける安全対策について

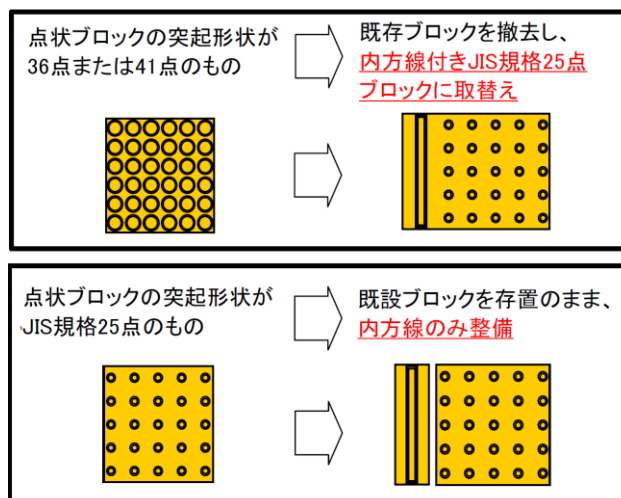
JR東日本仙台支社では、駅ホームの安全対策のため「内方線付き点状ブロック」の整備や、仙台駅の東北新幹線ホームに新たに「CPライン」の整備を進めています。あわせて、「声かけ・サポート」運動の実施も継続し、安心して駅をご利用いただけるよう取り組んでいます。

1. 内方線付き点状ブロック

- ・ JR東日本では、ホーム上での目のご不自由なお客さまの転落や列車との接触を防止するため、線状の突起を設けてホームの内外が分かるようにした「内方線付き点状ブロック」の整備を、乗降3,000人以上の駅等において実施しております。
- ・ 2020年度は、仙台支社管内において11駅の整備を行う予定です。



【内方線付き点状ブロック】



【整備イメージ図】

【2020年度整備予定駅】

線名	駅名
東北本線	二本松、槻木、館腰、塩釜、鹿島台、小牛田
奥羽本線	米沢、北山形、天童
仙石線	東塩釜
仙山線	北山

2. CPライン^(※)の整備

- ホーム端部を着色することによりお客さまに注意を促す「CPライン」については、新たに仙台駅東北新幹線ホーム2面4線で整備を進めています。
- 仙台駅における整備は、7月に完了予定です。



【CPライン】

シーピー
CPライン^(※) : CPとは、^{カラーサイクロジー}「Color Psychology (色彩心理)」の略で、人が危険と感じる度合いが高い色彩を用いてラインを引くことにより、視覚的・心理的にホーム端部の危険性に対して注意喚起を行うものです。

3. 「声かけ・サポート」運動の実施

お身体の不自由なお客さまやご高齢のお客さまなど配慮の必要なお客さまに、安全かつ安心して駅等の当社施設をご利用いただくために、2011年9月より「声かけ・サポート」運動を行っています。この運動は、バリアフリー設備の整備だけでなく、社員やご利用のお客さまに声かけやサポートの具体的な方法を示し行動を後押しすることで、社会全体で配慮の必要なお客さまを見守り、支えあう動きを広げていくことを目的としています。

